

糸満市への訪問

網走市立第五中学校2年

鈴木

明日蘭



僕は糸満市を訪問して分かったことが2つあります。

一つ目は戦争についてです。僕は糸満市の平和祈念資料館に行き、実際の証言や、当時の物を見たり、聞いたりしました。その中で、0歳の時に戦争を体験した久保田さんの言葉が心に残りました。戦争では赤ちゃんの泣き声がばれてしまうといけないという理由で、赤ちゃんを殺してしまうことが多くあったと聞きました。お話を聞いた後、外に出て平和の礎を見に行きました。すごい数の名前があり、信じられなくなりました。資料館を出た後、身近な人にもこの事実を伝えたいと思いました。

二つ目は、文化についてです。沖縄県は、元は琉球王国という国で、独自の文化があり、一つの国としてありました。しかし、薩摩藩（現在の鹿児島県）の侵攻を受け、沖縄県となりました。なので、沖縄県独自の言葉もあります。

続いて、訪問の様子を書いていきたいと思います。

一日目は、沖縄県に到着したらまず、ガリガリーおおしろさんに行き、サーターアンダギーを作り、夕食を食べてホテルに行きました。

二日目は、先ほども書いたとおり、平和祈念資料館に行き、平和について学びました。その後、昼食を食べて、ひめゆりの塔に行きました。ここでは、ひめゆり学徒隊のことがあり、自分たちと同じくらいの年齢の女の子たちがたくさんいて、信じられなかったです。その後市役所に行き、市長さんにあつてきました。その後、くくる糸満に行き、エイサーを見て夕食を食べました。見たことがない食べ物がたくさんあって面白かったです。

三日目は、天気が悪くおきなわワールドに行きました。その中で一番印象に残ったのが鍾乳洞です。理由は中にあつた水がとてもきれいだったからです。

最終日は、イーアス沖縄に行きました。ここでは、地元ではないような色々な魚がいました。色がたくさんあつてとてもきれいでした。

今回の事業で、改めて網走市と糸満市の気候の違いを実感しました。後は、平和を実現するためにはどうすればいいのか、自分には何ができるのかを考えていこうと思いました。

そして、この事業の参加にあたりいろいろなことをしてくれた全ての人に感謝したいです。今回はありがとうございました。機会があればまた訪れたいです。